作成日　　2006 年　4 月 26 日
改訂日　　2025 年　5 月 30 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　　：サンケイクムラス
供給者の会社名称，住所及び電話番号
会社名称　　：サンケイ化学株式会社
住所　　：〒110-0005　東京都台東区上野 7 丁目 6-11(第一下谷ビル)
担当部門　　：開発部
電話番号　　：03-3845-7951
ＦＡＸ番号　　：03-3845-7950
緊急連絡先　　：同上
整理番号　　：B - 23
推奨用途及び使用上の制限　　：農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のＧＨＳ分類

物理化学的危険性	可燃性固体	：区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	：区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	：区分に該当しない
	急性毒性(吸入：ガス)	：分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	：区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分に該当しない
	呼吸器感作性	：分類できない
	皮膚感作性	：区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	：分類できない
	発がん性	：分類できない
	生殖毒性	：分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：分類できない
	誤えん有害性	：分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期(急性)	：区分に該当しない
	水生環境有害性　長期(慢性)	：区分に該当しない

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素
絵表示　　：該当しない
注意喚起語　　：該当しない
危険有害性情報　　：該当しない
注意書き　　：P101　医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102　子供の手の届かないところに置くこと。
P103　使用前にラベルをよく読むこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　：混合物

化学名又は一般名	含有量
硫黄	79.2%
界面活性剤　等	20.8%

作成日　　2006 年　4 月 26 日
改訂日　　2025 年　5 月 30 日

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
硫黄	79.2%	7704-34-9	―	―	―
リグニンスルホン酸ナトリウム	<20%	8061-51-6	―	8-209	―

4. 応急措置

吸入した場合　：直ちに空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努める。
異常が続く場合は、速やかに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：直ちに多量の水と石けんでよく洗うこと。
異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。
作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：水でよく口の中を洗浄する。
異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：粉末、泡、噴霧水

使ってはならない消火剤　：二酸化炭素

火災時の特有の危険有害性　：一酸化炭素, 二酸化炭素, 硫黄酸化物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

特有の消火方法　：速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺設備に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置
：粉じんを発生させない。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
土壌中に放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：少量の場合は、粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。
大量の場合は、掃き集めるかすくい取る。
粉じんを発生させないこと。
廃棄物を適切な容器に集めること。
水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。
環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項　：粉じんを発生させないこと。
粉じんは空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。
静電気防止対策をとる。
発火源を近づけない。

作成日　　2006 年　4 月 26 日
改訂日　　2025 年　5 月 30 日

消火器常備のこと。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
適切な保護具を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。

局所排気・全体排気　：「８．ばく露防止及び保護措置」を参照
接触回避　：「10. 安定性及び反応性」を参照
衛生対策　：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

保管　安全な保管条件　：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。

安全な容器包装材料　：国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策　：屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具　：呼吸保護具の着用は不要
手の保護具　：長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋(EN ISO 374-1)(保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1 によると、透過時間は 480 分以上であること)：ニトリルゴム(0.4 ㎜)、クロロプレンゴム(0.5 ㎜)、ブチルゴム(0.7 ㎜)など。
眼、顔面の保護具　：サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)
皮膚及び身体の保護具　：前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：微粒及び細粒
色　：褐色
臭い　：微かな特有臭，硫黄のような臭い
融点／凝固点　：約 112 - 116 ° C
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：情報なし
可燃性　：可燃性低い
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
　：爆発下限界　約 25 g/m3
引火点　：情報なし
自然発火点　：該当しない、製品は固体である。
分解温度　：情報なし
ｐＨ　：約 7 - 9
(CIPAC 標準水 D，1 %(m)，20 ° C)
動粘性率　：該当しない、製品は固体である。
溶解度　：分散可能(水)
n-オクタノール／水分配係数(log 値)
　：情報なし

作成日　　2006 年　4 月 26 日
改訂日　　2025 年　5 月 30 日

蒸気圧	：	情報なし
密度及び／又は相対密度	：	密度: 約 1.88 g/cm3 (20 ° C) 嵩密度: 870 - 953 kg/m3
相対ガス密度	：	情報なし
粒子特性	：	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
化学的安定性	：	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
危険有害反応可能性	：	情報なし
避けるべき条件	：	製品安全データシートの第７項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。
混触危険物質	：	強塩基, 強酸, 強酸化剤
危険有害な分解生成物	：	指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	：	区分に該当しない LD50　ラット　>2200mg/kg
皮膚	：	区分に該当しない LD50　ラット　>2000mg/kg
吸入	：	区分に該当しない LC50　ラット　> 5.4mg/L
皮膚腐食性／刺激性	：	区分に該当しない ウサギ　刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分に該当しない ウサギ　刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	：	データが不足しているため分類できない。
皮膚感作性	：	区分に該当しない モルモット　感作性なし
生殖細胞変異原性	：	データが不足しているため分類できない。
発がん性	：	データが不足しているため分類できない。
生殖毒性	：	データが不足しているため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	データが不足しているため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	データが不足しているため分類できない。
誤えん有害性	：	データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	：	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	：	区分に該当しない

魚(ニジマス)	：	LC50(96h)　> 100 mg/l
甲殻類(オオミジンコ)	：	EC50(48h)　> 1,000 mg/l
水生植物	：	EC50(72 h)　290 mg/l
微生物/活性汚泥への影響	：	EC50(18 h)　> 2,000 mg/l, プチダ菌

作成日　　2006 年　4 月 26 日
改訂日　　2025 年　5 月 30 日

残留性・分解性	： 情報なし
生態蓄積性	： 情報なし
土壌中の移動性	： 情報なし
オゾン層への有害性	： 情報なし
その他	： 蚕に影響有り

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物	： 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装	： 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	： 該当しない
	品名	： 該当しない
	国連分類	： 該当しない
	容器等級	： 該当しない
国内規制	陸上輸送	： 道路法等の規定に従う。
	海上輸送	： 船舶安全法の規定に従う。
	航空輸送	： 航空法の規定に従う。
特別の安全対策		： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。
指針番号		： 133

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法　： 該当しない

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条)
： 硫黄

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2)
： 硫黄

毒劇物取締法	： 該当しない
化審法	： 該当しない
消防法	： 第 2 類、硫黄含有物、第 1 種可燃性固体
農薬取締法	： 登録番号　第 21874 号

16. その他の情報

参考文献

- JIS Z 7252：2019　GHS に基づく化学物質等の分類方法
- JIS Z 7253：2019　GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 原料 SDS(BASF ジャパン株式会社　2024 年 3 月 19 日改訂)

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。